

【教科目標】

教科	技術・家庭科（技術分野）	学年	第 2 学年	技術分野担当	奥田 邦弘
----	--------------	----	--------	--------	-------

使用教科書・教材等 **【学習計画】** **【評価の観点と評価の方法】**（通知表のつけ方） **【授業の受け方・学習のポイント】**（担当の先生からの

生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

アドバイス **【家庭学習の進め方・学習のポイント】**（担当の先生からのアドバイス）

教科書 新編「新しい技術・家庭（技術分野）東京書籍」

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	3 編 生物育成に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> 生物（植物、動物、水産生物）を育てる技術について知る。 栽培計画を立てる。 	教科書 ノート ファイル
	4 編 情報に関する技術 コンピュータの基本操作	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの基本操作を知る。 コンピュータを構成する装置のしくみや働きを理解する。 	
2 学 期	2 編 エネルギー変換に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換について知る。 機械の運動を伝える仕組みや部品、回転運動を伝える仕組みの特徴について知る。 往復運動を伝えるリンク装置やカム装置の仕組みを知る。 実習 リンク装置を使い、紙模型を製作する。 	教科書 ノート ファイル
	4 編 情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ技術について知る。 情報を安全委使う技術について知る。 	
3 学 期	4 編 情報に関する技術 プログラムによる計測・制御	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの仕組みについて知る。 計測・制御の仕組みを知る。 プログラムの役割を知り、制御プログラムを作る。 情報技術を適切に評価し、活用する。 	教科書 ファイル

評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度 25%	生活を工夫し創造する能力 25%	生活の技能 25%	生活や技術についての知識・理解 25%
評価の観点の趣旨	授業への参加態度・意欲、提出物の内容等、積極的に取組、努力しているか。	生活を振り返りながら課題を見つけ、その課題を解決しようと考え、よりよい方法を工夫しているか。	学習したことに基づき、適切に判断し生活に生かせるよう実践できるか。	学習の内容を整理し、理解しているか。
評価の方法	授業の準備 発表等の授業態度 ノート等提出物の提出状況	授業（実習）の様子 レポート 提出物等	実習の様子 作品 提出物等	定期テスト 提出物等

- ・教科書・ノート・ファイルなど準備物を忘れず、授業に集中できる態勢を自分で作りましょう。
- ・質問や考えたことを積極的に発言し、他の人の意見も大切にしながら授業内容の理解を確かなものにしましょう。
- ・プリントやファイル、作品の提出期限を守りましょう。
- ・ノートはしっかり取り、分かりやすいノートを作りましょう。
- ・プリント等の課題にまじめに取り組ましましょう。
- ・基本的な技能を身に付け、工夫して作品が完成できるように実習に根気よく取り組みましょう。

- ・実際に授業で学んだことを、普段の家庭生活の中で工夫し、活かしていけるようにしていきましょう。特に自分から進んで家の人の手伝い等をしていくことが大事です。
- ・環境や最新の技術の話題等に関心を持ったりして、よりよい生活ができるように知識と技を身につけていきましょう。